

先進地に学ぶ

文教厚生常任委員会活動(研修)報告

先進地視察

子ども子育て新制度への取組

(平成25年11月14日)

鹿児島県阿久根市では、認定こども園めぐみ園を視察。

平成27年度からの子ども・子育て支援新制度において制度変更に伴う認定こども園移行へ先進的に取り組まれている現状を視察。幼稚園におけるこども園移行後の取組について研修。制度として認識不足であった部分も多く光の幼稚園の移行時にも参考となることも多かった。

過疎地における買い物弱者への取組

(平成25年11月14日)

AZスーパーセンターでは、過疎地における地域密着型の大型店舗の取組を視察。

過疎地であるがゆえの大きな課題に先進的に取り組まれていた。

まちづくりの視点からの福祉拠点づくり

(平成25年11月15日)

地域福祉拠点「健軍くらしささえ愛工房」では、NPO法人おーさあが運営。

「くらし安心処」として小規模多機能型居宅介護事業、通所介護事業、基準該当生活「地域の縁がわ」として子育てルームや喫茶、配食サービスのほか商店街アーケード内で、手作り惣菜提供の「ぐんぐん市場」、手作り雑貨を販売する「ふらつと」、若年者の就労支援を行う「若者サポートステーション」など積極的に活動。

どの事業においても地域の課題について積極的に取り組まれるとともに、そこで活動されている方々が生き生きと輝いておられることに感銘を受けた。大木町においても参考になる事例

も多く、文教厚生常任委員会でも積極的に取り組むべきであると強く感じた。



健軍くらしささえ愛工房での研修状況



めぐみ園での研修状況

ここが知りたい！ 訴えたい！

一般質問

松枝 治幸 学校教育のなかで模擬議会の実施を
山北清四郎 今後の掘整備計画は
中島 宗昭 教育再生のための親学の推進を
井上 護 認知症対策は

徳永 豊道の駅を中心に交流空間活用、
小畠 裕司 学校施設の防災計画
古賀 泰弘 特産物イチゴをどう守る

《一般質問》

松枝 治幸 議員

学校教育のなかで模擬議会の実施を

問

答 意義あるものと思われる

問 ISO9001品質マネジメントシステムは、市民が求める品質を保証したサービスを提供することができ、PDCAサイクルが定着し、作業の効率化が図られる。担当者が変わったとしても保証されるサービスが変わらない、第三者が審査・認証するために社会的な認知度も高く、社会的信用度も向上するものがあるが、認証取得の考えは。

町長 本町役場においてISO9001などの認証を取得することは、民間企業では新たな取引等への信用を獲得する上で、一定の直接的な効果をもたらす場合もあると考えられるが、役場では基本的に町民からの信頼が重要であり、認証を得たとしても直接的に有効とは言いがたい。また、大木町役場は小規模な組織で、業務の質を確保する上では、認証制度を活用するより、私自身を含めた幹部職員一人一人の意識を高めていくことが有効かつ重要と考えるため、その必要性は必ずしも高くない。

さらに、現段階では、職員の仕事への意識改革、やらされ感のある職員の意識を変え、職員の意識を高める手段として

事務事業評価や事務改善提案など制度的に高いものにしていきたい。

問 学校教育行政に関する質問として、①本町でのタブレット端末の使用予定②公職選挙率向上のために議会の傍聴や模擬議会の実施③総合学習の内容と充実について伺う。

教育長 ①情報通信技術を活用することが極めて一般的な社会で、学校教育の場において社会で最低限必要な情報活用能力を確実に身につけて社会に送り出すことは、学校教育の責務である。

また、今年度小・中学校のICTを7年ぶりに更新した。具体的には、児童・生徒の情報活用能力育成のためのコンピュータ教室の機器の更新、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保できるように、公務の負担軽減を図るため教員用パソコン公務支援ソフトの更新、教科指導におけるICT活用のための電子黒板、実物投影機を導入し、その活用に取り組んでいる。タブレット端末は、デジタル教材の開発や、開発の留意点などに関するガイドラインの策定が必要、

十分な整備が行われていない状況であり、まずは情報収集に努めていく。

②議会の傍聴や模擬議会の実施は、義務教育における政治教育で、小学校6年社会科、中学校3年社会科公民的分野で基礎的な内容を学習している。今、18歳の国民投票の問題がクローズアップされており、総合的な学習の時間の学習内容としては、意義があると思われる。

③小・中学校での総合的な学習の時間の学習内容は、まず、大木町の自然、社会事象の特徴を探究する学習で、具体的には、環境に視点を当てた学習で、町のシンボルである堀の環境保全やごみのリサイクル等に関するもの。次に、町の主産業である農業に視点を当てた学習で、米づくりに関するもの。さらに、学校、家庭、地域の連携に視点を当てた学習で、校区の祭り等に関するものがある。また、勤労観や職業観を育てるキャリア教育などがある。

今後、子供が堀と水田の大木町を愛し、誇りとして成長し、これからの激動の時代を生き抜く力を育成していくためにも、現在の総合的な学習の時間の取り組みを進化、充実させるよう指導していく。



総合学習のようす(堀干し)



ICT教育のようす